

ZOOっといっしょ

こんげつ 今月のニュース!

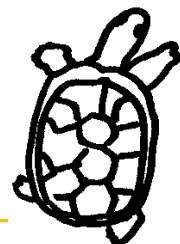


・オオカンガルーに新しい仲間が増えました!!

2012年11月5日に埼玉県こども動物自然公園からメスのカンガルーが来園しました。名前はモナカ、2歳の若いかわいらしいカンガルーです。最初は慣れない場所で知らない人や他のカンガルーに緊張していましたが、だんだんと慣れてきて、餌もよく食べるようになりました。今は桐生が岡動物園の3頭のカンガルーと仲良くできるように柵越しにお見合いをしているところです。運動場にも慣れるように少しずつ練習をしています。4頭の群れで仲良く生活できる日がくるのを温かい目で見守ってくださいね。

・カメが冬眠に入りました!

寒くなってきたので、こどもどうぶつコーナーで展示していたクサガメ、イシガメ、フロリダアカハラガメを冬眠させるために水鳥池へ移動しました。暖かくなる春になったら、またこどもどうぶつコーナーに戻ってきます。ケヅメリクガメも寒いのが苦手なため暖かい室内にいます。そのため、みなさんにはご覧いただけませんが、暖かくなってきたらまた外に出てきますので、春まで待っていてくださいね。



「こたろうポスト」から

キリンの『こたろう』が動物たちとみなさんをつなぐ郵便配達員になって、みなさんから届いた疑問・質問にお返事するコーナーです。

質問 : なんでサルのしっぽは長いんですか?

お返事 : おサルさんは約200種類いますので、今回はその中の、桐生が岡動物園にいるクモザルにスポットをあててお答えします。

クモザルはしっぽが長いので、木の上でも落ちずにしっかり移動できます。クモザルのしっぽは感覚器官にもなっていて、木にぶら下がったり、ピーナッツほどの大きさのものならしっぽを使ってつかむことができます。このしっぽは「5本目の手」とも呼ばれていて、手を枝にフックのようにつかまわすときに、このつかめるしっぽを手と手の間に入れ、命綱のように使っているのです。

おサルさんの中には、ニホンザルのようにしっぽが短いものもいます。

みなさんも、知りたいことや不思議なおもったことなど気軽に質問してくださいね。質問箱はクモザル舎のガラスビュー観覧スペースに設置してあります。



ペンギンのソラの性別が分かりました!!

昨年生まれたフンボルトペンギンの『ソラ』の性別を調べるために、家畜改良事業団にソラの

羽からDNAを抽出して調べてもらった結果、メスだということが分かりました。これからステキなおむこさんを探していく予定です。

特集

第8回目の特集はムフロンです

桐生が岡動物園では現在、♂4頭♀4頭、計8頭のムフロンを飼育しています。オスの角は特徴的でかっこいいです。繁殖の季節にはオス同士の角の突き合いが見られるかもしれません。とても臆病な性格なので、静かに見てあげてくださいね。

ムフロンのごはん 1日分(1頭)

ペレット(乾燥させた固形のエサ):100g 乾牧草:常時 野菜・果物:適量
アルファルファヘイキューブ(牧草を乾燥させて固形にしたもの):200~300g

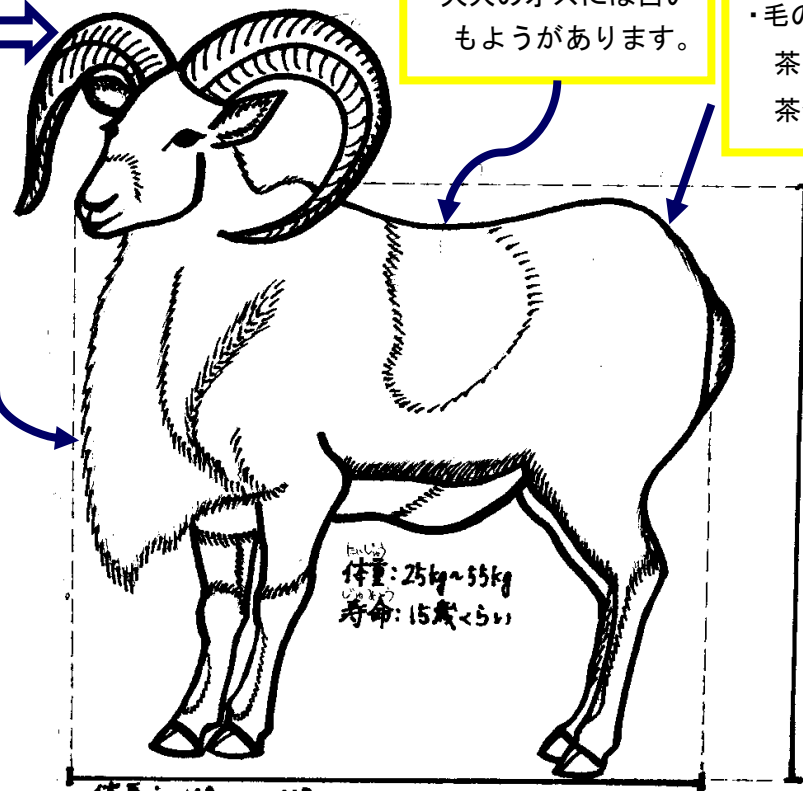
- ・角は「うずまき型」と「らせん型」の2種類があります。
- ・メスには角がありません(コルシカ島のメスには角があります)。

・のどの下には長い毛があります。

- ・とても警戒心が強いです。
- ・主に草や木の芽、若い枝を食べます。
- ・メスの体はオスより小さいです。

・大人のオスには白もようがあります。

・毛の色は赤茶色や黒茶色。



体高
65cm
?
75cm

体重:25kg~55kg
寿命:15歳~5歳

体長:110cm~113cm

ムフロンについて

地中海にあるコルシカ島・サルジニア島・キプロス島やイラン西部などの山岳地帯に生息しています。ヒツジの仲間の中では1番体が小さい種類です。家畜のヒツジの祖先の1つとされています。近年では生息地の開発などで、個体数が減少していて絶滅危惧種として指定されています。